需要予測型AIサービスの導入で飲食店舗オペレーションに改革を

株式会社Goals　COO　渡邉　真啓

特定非営利法人 ITC近畿会主催「IT経営カンファレンス in 近畿」講演2　2023年12月7日（木）14:45～15:15

自己紹介

株式会社Goals　COO

渡邉　真啓　Masahiro Watanabe

テンプスタッフ（現・パーソルテンプスタッフ）とオプトで営業職、キャリアデザインセンターでプロダクト部門の取締役に就任。その後ベンチャーの代表取締役、カカクコムでCSの立ち上げ、ヤフー（現・LINEヤフー）で新規事業責任者を経てfreeeサインで執行役員COOに就任。社員数30名～1万名以上の会社の中でメンバーから代表取締役までの経験を活かして事業成長をさせるべく、2023年9月よりGoalsに入社しCOOに就任。

会社概要

会社名	株式会社Goals
所在地	東京都港区芝5-3-2 ＋SHIFT MITA 3F
代表者	佐崎 傑
設立	2018年7月9日
従業員数	77名 (2023年10月1日時点、取締役含)
事業内容	外食向けSCM支援クラウドシステム **HANZO** の開発・販売・運用支援

沿革

プレA調達&新橋オフィス

NEDO/産総研（経産省）との
AIプロジェクトに実施協力

SaaSいくつか@自宅

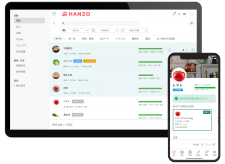
シード調達&代々木オフィス

会社設立

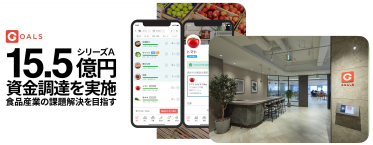
食品・外食 × 原価低減領域
にフォーカス

需要予測AI・在庫理論の
研究開始

HANZOシリーズ 正式リリース開始



シリーズA調達&田町オフィス



本日お話すること

需要予測型AIサービスの導入で
飲食店舗オペレーションに改革を

AIを活用したサービスの導入で、これまで人が行ってきた業務を自動化・適正化できます。
実際の見込まれる効果を導入事例を用いてご紹介します。

アジェンダ

01 外食企業の抱える課題

02 需要予測型AIサービス「HANZOシリーズ」とは

03 導入効果から目指すソリューション

外食企業が抱える課題

コロナ禍以降も、様々な課題が発生

1. 人手不足

- 若年層の就業意向
- 人口減の課題

2. 原材料の高騰

- 食材原価の高騰
- 輸送コストの上昇

3. 食品ロス

- 社会課題への対応
- 業界で約200万トン

4. 新規需要の創出

- インバウンド対応
- 健康志向ニーズ

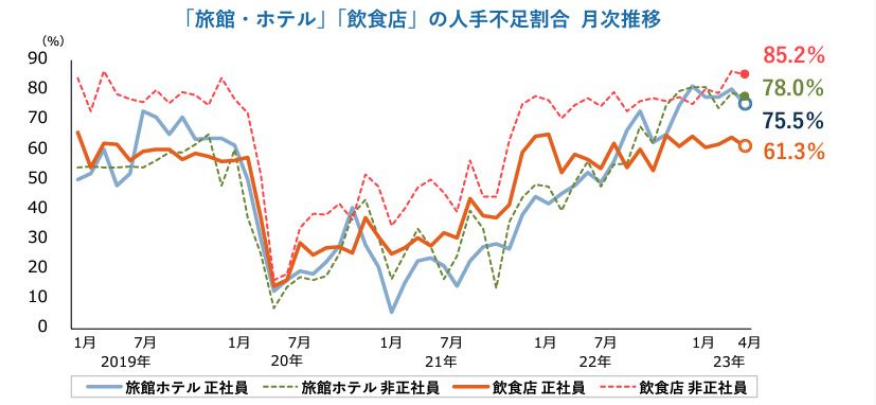
5. 安全性への対応

- 品質衛生管理
- 迷惑行為への対応

外食企業が抱える課題：人手不足

人手不足が特に深刻な「旅館・ホテル」と「飲食店」、時間外労働の増加も際立つ

今回の調査では正社員の人手不足感は51.4%、非正社員は30.7%となった。アフターコロナに向けての動きが本格化するなか、企業の人手不足感は高止まりの状況にあることがわかった。 なかでも「旅館・ホテル」の人手不足の割合は8割近い水準となり、「飲食店」の非正社員不足も突出していた。企業からは「新型コロナ禍で抑制されていた人流の活性化や旅行支援、イベントやスポーツ大会の正常化などで高稼働の状況が続くが、人手不足で十分な対応ができない」（大分県、旅館）との声が聞かれる。今後は訪日外国人客の更なる増加が期待されるなかで、外国人労働者などの活躍による人材確保やDXなどによる合理化投資が急がれる。



出典：帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査（2023年10月）」（2023年11月14日）より一部引用
https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p230502.html

外食企業が抱える課題：需要増

ワタミ居酒屋2ブランドの忘年会予約状況（2023年11月12日時点）、2019年比で予約件数123％とコロナ前超の水準に

ワタミ株式会社（本社：東京都大田区、以下ワタミ）では、居酒屋業態2ブランド「ミライザカ」「三代目 鳥メロ」の計189店舗にて受付を開始している2023年忘年会シーズンの宴会予約について、2023年11月12日時点での予約状況が2019年比で予約件数123％とコロナ前を大きく上回る水準となりましたので、お知らせいたします。
ワタミでは、現在、早期予約でお得なダブル特典がつく宴会コースの早得キャンペーン（2023年11月30日（木）までの予約）を展開しており、一年の締めくくりに相応しい豪華な忘年会の実施を後押ししています。

出典：ワタミ株式会社　2023年11月14日発表プレスリリース
「ワタミ居酒屋2ブランドの忘年会予約状況（2023年11月12日時点）、2019年比で予約件数123％とコロナ前超の水準に」より一部引用
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001045.000009215.html

外食企業が抱える課題

これらの課題が会社経営・店舗運営に重くのしかかる

1. 人手不足
2. 原材料の高騰
3. 食品ロス
4. 新規需要の創出
5. 安全性への対応

FLコスト ↑

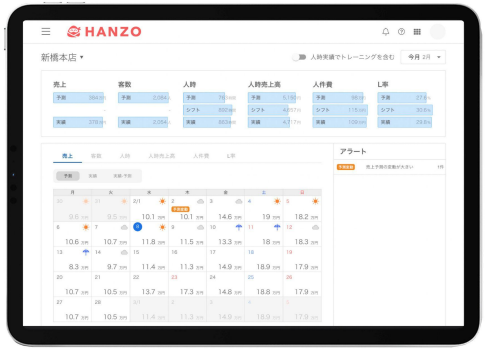
その他経費

営業利益 ↓

製品コンセプト

FLコストを改善することが、HANZOの目的

HANZO



FLコスト ↓

その他経費

営業利益 ↑

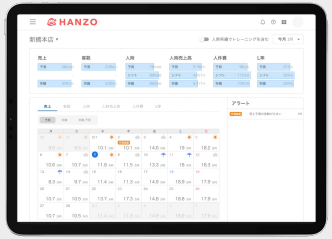
事業概要

外食産業のDX実現にむけ、サービス提供・研究開発両面で事業を進めています

外食企業での、需要予測・発注・人件費DX

HANZO 自動発注

HANZO 人件費



AIを用いたDX推進の研究開発

NEWS

スタートアップ企業 Goals、NEDO が産総研へ委託したプロジェクトに協力

飲食店での AI 活用により実験対象食材の 91.7%で発注を完全自動化に成功
外食産業向けクラウドサービス「HANZO 自動発注」を用いた自動発注実証結果を報告

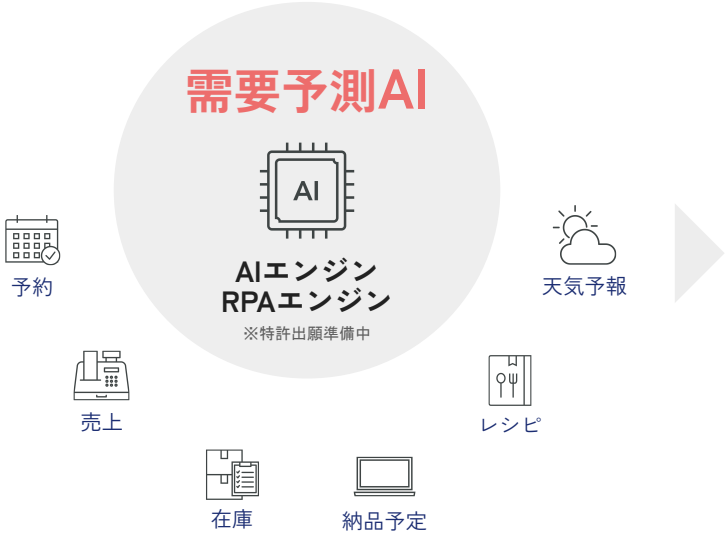
プレスリリース　2022.03.15

TOP ＞ ニュース ＞ プレスリリース ＞ スタートアップ企業…

株式会社Goals(本社:東京都港区 代表取締役:佐崎 傑 以下、当社)は、国立研究開発 法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)が国立研究開発法人 産業技術総合研究所(以下、産総研)に委託した研究プロジェクトの一部に伊藤忠商事株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長COO:石井 敬太 以下、伊藤忠商事)と共同で実施協力しました。店舗におけるAI需要予測・自動発注の実現を目指し、当社が提供する外食産業向けクラウドサービス「HANZO 自動発注」を用いて、2021年12月に実証実験を実施しました。
実証実験前では本クラウドサービス導入により1店舗あたり月間で最大12.5 時間の発注業務時間の短縮を実現していました。さらに、一部店舗を対象に行った本実験では対象食材の91.7%で発注業務を完全自動化することに成功しました。

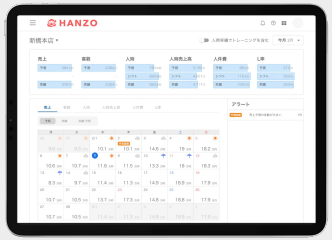
需要予測型AIクラウドサービス「HANZOシリーズ」

外食企業の業務改善に特化した需要予測AIを搭載
発注・人件費管理を自動化し、コスト最適化をサポート



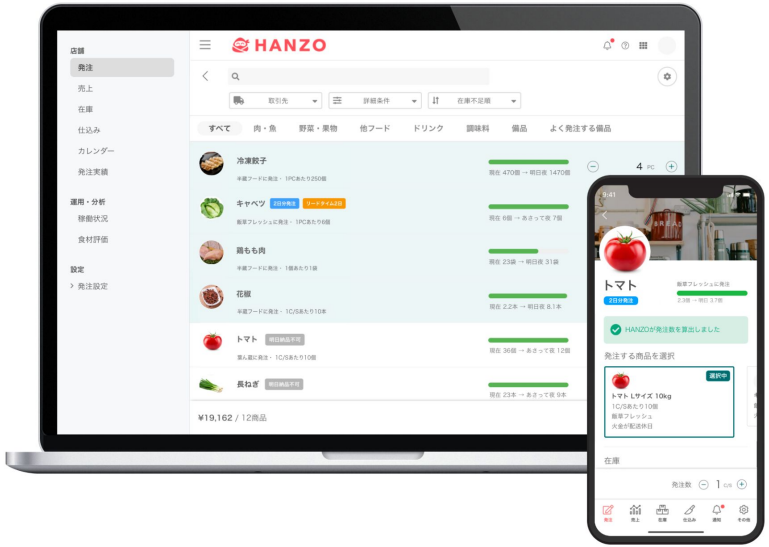
HANZO 自動発注

HANZO 人件費



HANZO 自動発注

発注を代行し、正しい(品切れ/ロスのない)発注が
誰にでもできるようになるプロダクト



＼POINT／
01
AIが売上予測・消費食材量を算出

＼POINT／
02
店舗の理論在庫量を自動算出

＼POINT／
03
最適な在庫量・発注量を自動算出

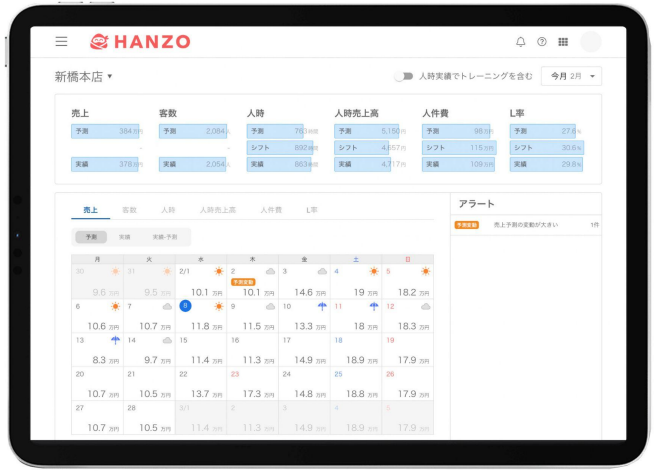
HANZO 自動発注

発注業務の属人化を解消、大幅な工数削減を実現

※導入企業様の実績に基づき当社が算出した値であり、実際の導入効果を保証するものではございません。

HANZO 人件費

優秀な店長クラス水準の売上予測を自動で算出
誰でも適正なシフト作成を行えるようにサポート



＼POINT／
01
45日分の売上予測を自動算出

＼POINT／
02
店舗ごとに最適な人時生産性モデルを自動計算

＼POINT／
03
各店舗の人件費予算・実績を自動集計

導入による効果

居酒屋・ラーメン・レストラン・カフェなど
様々な業態でご活用頂いています

売上損失や食品ロスの回避へ。店舗生産性を高めるワタミのDX

ワタミ株式会社
マーケティング部課長 三好 様
ミライザカ池袋西口ロマンス店店長 森下 様

導入効果
アルバイトでも発注業務の遂行が可能に。

まこと屋が守る「ラーメン屋らしさ」とは？らしさを支えるHANZO 自動発注の活用

株式会社マコトフードサービス
取締役副社長 吉田 智博 様
まこと屋厚木山際店店長 大黒 様

導入効果
発注業務の簡素化、取引先における在庫過多低減

HANZO 人件費の導入で全店舗平均の月間人件費率が2.02%改善

株式会社ポポラマーマ
執行役員　営業本部　第1営業グループ　マネージャー　佐藤 様

導入効果
導入全店舗平均の月間人件費率が2.02%改善

導入による効果：人件費率約2%改善

店舗で抱えていた課題解決に向けてHANZO 人件費の導入を決定

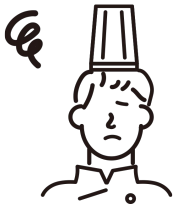
店舗の課題

01 来客数・売上予測やシフト作成など手作業で店長の作業負担が大きい

02 店舗ごとに来客数・売上予測の内容にばらつきがある

03 店長の異動で引き継ぎが不十分な場合、お客さま対応に支障が発生する

適正な人員配置が行われない場合、
人員過不足に繋がり店舗の営業に影響



導入による効果：人件費率約2%改善

活用が進み導入全店舗平均の月間人件費率約2%改善
効率化した時間を接客サービスの向上にあて店舗の営業クオリティをあげる

01 店長の異動があってもスムーズに情報共有可能

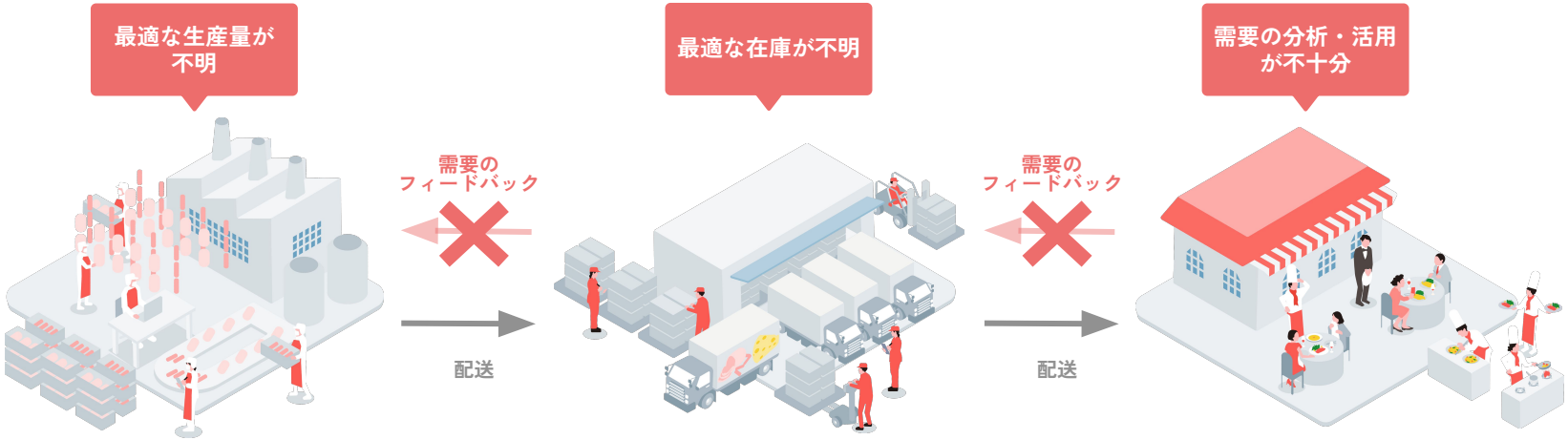
02 1時間ごとの売上・必要人員数の予測を活用して過不足のないシフト作成につながる

03 予測に対して準備ができれば心にゆとりが生まれ、いい接客につながる

※ 人件費率（L率）は売上金額に対する人件費の割合を示す指標。本件の人件費率は導入先の実績と厚生労働省「令和4年賃金構造基本統計調査」を用い当社算出。
また改善とはHANZO 人件費導入前の基準月と導入後の特定月における月間人件費率の差分を表します。全ての企業で同じ結果が出ることを保証するものではありません。

課題解決に向けて

垂直統合が道半ばの産業のため、
各業界を横断したサプライチェーンに非効率あり



食品製造
市場規模36.5兆円

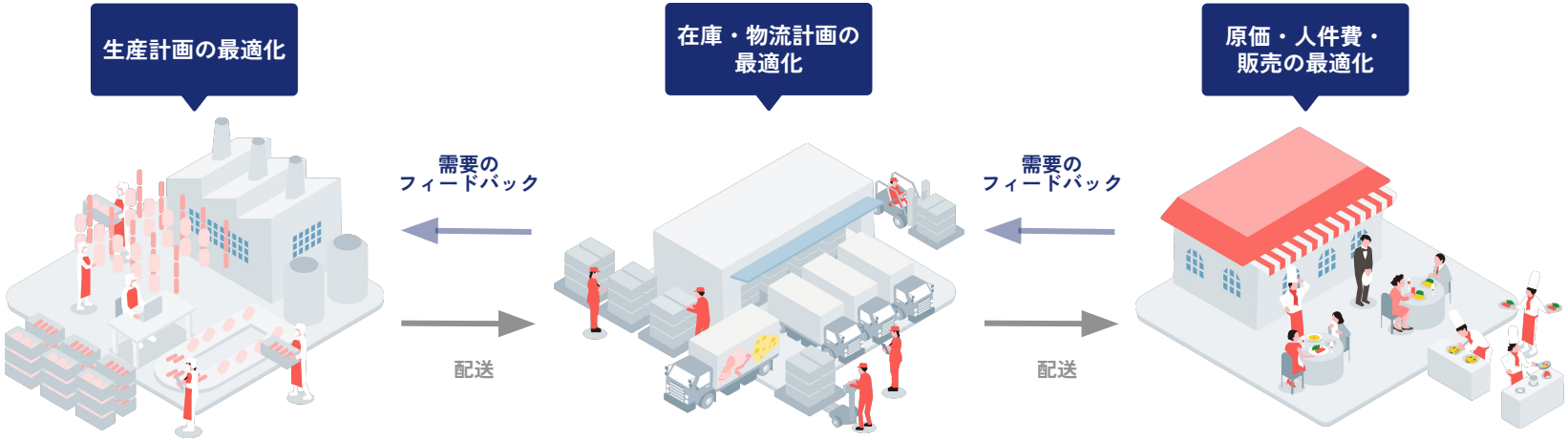
食品流通
市場規模35.4兆円

外食
市場規模19.1兆円

「令和3年農業・食料関連産業の経済計算（概算）(農林水産省)(https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/keizai_keisan/) をもとに当社作成

目指すソリューション

資本ではなく、データによって食品産業をスマートに



食品製造
市場規模36.5兆円

食品流通
市場規模35.4兆円

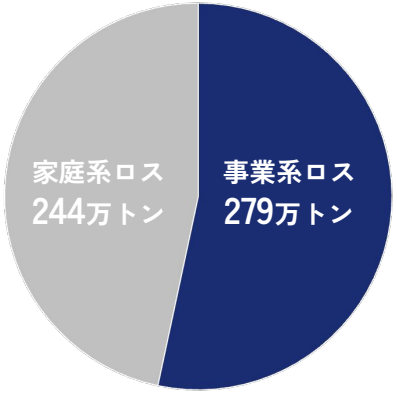
外食
市場規模19.1兆円

「令和3年農業・食料関連産業の経済計算（概算）(農林水産省)(https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/keizai_keisan/) をもとに当社作成

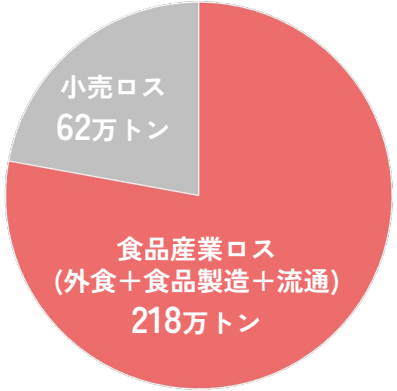
解決を目指す課題の一例　- 食品ロス -

食品産業起因で発生している年間218万トンの食品ロスに大きな改善の余地あり

日本の食品ロスの過半数が事業起因



事業系ロスの81%が食品産業起因



「食品ロス量の推移（平成24～令和3年度）」（農林水産省）（https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/attach/pdf/230609-1.pdf）の令和3年度データをもとに当社作成

最後に

AI活用によるメリットはさまざまあります！

HANZO

当社サービスへのお問い合わせ

https://hanzo.goals.co.jp/